

## 柳澤大輔氏が iU の教授に就任 2025年度からプロジェクトを推進

iU（東京都墨田区、学長 中村伊知哉、<http://www.i-u.ac.jp>）は、面白法人カヤック 代表取締役CEOの柳澤大輔氏が2025年度から正教授に就任することを決定しました。

iUは「プロジェクト教授」と称する非常勤の正教授ポジションを創設します。学生や客員教員・研究員が参加するゼミを開設することを通じて産学連携プロジェクトを率います。2025年度までに総勢10名程度のプロジェクト教授を採用する計画で、柳澤大輔氏はその内の1名です（起業家、国際社会文化学者、歌人であるカンハンナ氏の就任も決定しています）。

### ■ 柳澤大輔氏 プロフィール



1974年香港生まれ。慶應義塾大学環境情報学部卒業後、ソニー・ミュージックエンタテインメントに入社。

1998年、学生時代の友人と共に面白法人カヤックを設立。鎌倉に本社を置き、ゲームアプリや広告制作などのコンテンツを数多く発信。SDGsの自分ごと化や関係人口創出に貢献するコミュニティ通貨サービス「まちのコイン」は全国27地域で導入（2024年5月時点）。さまざまなWeb広告賞で審査員をつとめる他、サイコロを振って給与を決める「サイコロ給」など、会社という形の新しい可能性に取り組む。著書に「鎌倉資本主義」（プレジデント社）、「リビング・シフト 面白法人カヤックが考える未来」（KADOKAWA）、「面白法人カヤック社長日記 2015年-2020年愛蔵版」ほか。金沢大学 非常勤講師、元・慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特別招聘教授、淑徳大学 地域創生学部 客員教授。「デジタル田園都市国家構想実現会議」構成員。

### ■ 担当プロジェクト：プレストを使って「上手な失敗」を実践できるようになる「超失敗学」

サイコロを振って給与を決める「サイコロ給」や「うんこミュージアム」の企画など、既成概念にとらわれない発想力・企画力、形にしていく技術力を強みに、ゲームアプリや広告・Webサイト制作から地方創生まで日本的面白コンテンツを展開している面白法人カヤック。そのアイデアの源泉であるカヤック流のブレインストーミング（プレスト）を授業内で学びます。プレストは、アイデア生成と問題解決のための手段であると同時に、古い知識や信念、先入観を捨て、新しい情報やアイデアを受け入れられる「アンラーニング」ができる人材の育成にも活用ができます。

そのプレストを学ぶことで既成概念や先入観に捉われないアイデアを創出し続けられるようになり、小さな失敗をしても、また新たなアイデアを出せるようになることで「失敗を恐れないのではなく、失敗を気にしない」ようになります。不確実性の高いVUCA時代において、どんな状況下でも「失敗を気にしない」でその場に応じた柔軟な対応を進めることで、時に自分が想像していなかった想定外の成功を得られるように、「上手な失敗」の実践を目指します。

### ■ 柳澤大輔氏のコメント

不確実性の高い未来を生き抜くためには、既成概念に捉われないアンラーニングができる人材が必要とされています。予測不可能な時代に、「先が見えない」という閉塞感から深刻になってしまう人もいるかもしれません。

「アイデアいっぱいの人には深刻化しない」。これはある詩人の名言です。

実現不可能でもよいから、プレストをしてたくさんアイデアを出してみる、そうすると、次の打ち手がみえてくるようになります。ただ、多くのアイデアが全て成功するわけではなく、当然失敗も多くあります。そうであれば最速で失敗して、その次の打ち手を繰り出すことで、成功に繋がっていきます。

「上手な失敗」を実践できる「超失敗学」を通して、どんな状況下であっても成功に繋げる力をもつ、そんな社会を面白くする人材の育成に貢献できればと考えています。

### ■ iU 中村伊知哉学長のコメント



面白法人カヤックの柳澤さんが面白大学 iU に！面白くなります。ぶっ飛んだ発想力・企画力と技術力、アイデア&テクノロジーでアプリやサイトなど新しい世界をつくる。iU が目指すデジタル×ビジネスのイノベーションを体現するモデル、カヤック。上場企業の CEO が教授を務めるのもイノベティブです。学生諸君は世界にない体験と学びを得ることができますよ。

## <大学概要>

### ■大学・学部学科名

- ・大学名：「情報経営イノベーション専門職大学」 ※愛称「iU（あいゆう）」
- ・学部名：情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

情報と経営でイノベーションを起こす人材を育成する、デジタルとビジネスの国際大学。

AI、ソーシャル、web3、eスポーツ、デザイン思考、メディア、VR/AR、マーケティング、オタク、メタバース、セキュリティ……。プロジェクト授業、4ヶ月インターン、そして恐らく世界初の「全員起業」。

全員が起業に成功すれば就職率がゼロになるので、目標就職率ゼロ。 起業数42、起業増加率日本一。

だが多くは失敗する。失敗から学ぶ「失敗大学」。コンピテンシー：行動偏差値がトップ級。 結果、就職率97.5%。連携企業800社、客員教員1000人。学生より教授のほうが多い、プロのコミュニティの中で学ぶ大学。

研究所「B Lab」をベースとして、地域DX、超校歌、超人スポーツ、ニューロダイバーシティ等86プロジェクトが走っている。

2025年度には、eスポーツの学習・活動・インターン・起業を行う「eスポーツコース」も設ける。

入学式、卒業式などイベントは学生が企画・運営。自分でつくる大学。デジタル1st。日本初のPC・ネットあり入試を導入。

理念は「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」。

それ、おもしろい？ それ、あたらしい？

### ■学長

中村伊知哉（なかむらいちや）



京都大学特任教授、東京大学研究員、慶應義塾大学特別招聘教授、デジタル政策財団理事長、CiP協議会理事長、国際公共経済学会会長、日本eスポーツ連合特別顧問、大阪・関西万博2025 事業化支援PTプロジェクトリーダー、理化学研究所コーディネーターなどを兼務。

1984年、ロックバンド「少年ナイフ」のディレクターを経て郵政省入省。MITメディアラボ客員教授、スタンフォード日本センター研究所長、慶應義塾大学教授を経て、2020年4月よりiU学長。

内閣官房、内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省などの参与・委員を歴任。

著書に『新版 超ヒマ社会をつくるーアフターコロナはネコの時代ー』（ヨシモトブックス）、『コンテンツと国家戦略』（角川EPUB選書）など多数。

1961年生まれ。京都大学経済学部卒、大阪大学博士課程単位取得退学。博士（政策・メディア）。

### ■所在地

- ・本校舎：東京都墨田区文花1-18-13
- ・サテライトオフィス：東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝 オフィスタワー8階



左：本校舎  
右：サテライトオフィス

- ・学生数：744名 ・専任教員数：27名

### ■教育理念

「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」

## ■ 学びの特色

### 「ビジネス」「ICT」「グローバルコミュニケーション」この3つが学びの柱

#### ① 論理的思考で世の中に変革を起こす【ビジネス】

ビジネスの仕組みを理解し、マーケティング、マネジメント、財務、法務などの専門知識を学習  
さらに、必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じて、課題発見からビジネスプランの立案までを繰り返し学ぶことで、実践力を身に付ける

#### ② 情報通信技術の可能性を知る【ICT】

急速に進化する世界で自身のアイデアを形にし、世界へ発信する力となるデジタル技術を身に付ける  
プログラミングやデータ処理、ネットワークといった基礎技術から、AI、データサイエンスなどの最新領域をカバーするカリキュラムを展開

#### ③ 国境を越えて世界中の人と協働する【グローバルコミュニケーション】

卒業後に現場で生きるビジネス英語を中心に、異文化理解、国際情報やグローバルビジネスを学び、ボーダーレスな共創・活躍を実現するための多角的な国際感覚を養い、英語でのビジネスピッチが行えるまでを学び、実社会で活躍できる人材を育成

### 全員インターンシップ×全員起業×オンライン学習

- ・インターンシップとリアルプロジェクト：1人640時間のインターン、実ビジネスの中でハンズオンのリアルプロジェクト教育を実施
- ・全員起業：必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じて、全員が在学中に起業にチャレンジ。希望者には事業化まで伴走するプログラムや資金提供、大学の所在地を使った登記などをサポート
- ・オンラインを活用した授業サポート：自ら積極的に学ぶための環境を用意

## ■ 育成人材像

- ・ICTを活用する様々な業界・団体において課題を解決し、新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことのできる人材
- ・ICTを活用し新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する起業家

#### 【本リリースに関するお問い合わせ先】

iU 情報経営イノベーション専門職大学 TEL : 03-5655-1555 E-mail : [info@i-u.ac.jp](mailto:info@i-u.ac.jp)